

高山でありづかみ

押田 匠輝

○ほくは、小さい時に、高山のよいおはあち
人に会いに行きました。

その日、川にありつかみに行きました。

ほくと、お父さん、お母さん、お父さんの

お姉さんとおはあちさんに行きました。

みんないっしょに朝ごはんを食いました。

その時にくるみを自分であけて食べるころが

、でさるので、つて10個も食入てしまいまひ

た。

お昼ぶつに川でみんなが遊びました。

そうしたらあちをるところがでさるころが

あつてそこに行きました。

お父さんは、やまきまさんでほくはまた

小さい方のひまきとあちそこにいるからと

つていとおつと書つていました。

お父さん生か人はつてみんなのいふに

つ多くとつてくれました。

その日、みんなで焼いておいしく食べました。

たけとみんなは、1つたのに気がおかしくは、
は、エビも食べたいました。

しがち、おいしく食べていた！

缶が、後ろにイスから落ちてしまいました。

みんながあく〜

と書いていました。

でもおいしかったのでよかったです。